

原子力施設及びその周辺システムにおける
年末年始のコンピュータの不具合について

平成12年1月11日

科 学 技 術 庁

科学技術庁では、2000年問題に関して、年末年始に運転中の核燃料サイクル開発機構ふげん発電所、日本原燃（株）ウラン濃縮施設及び核燃料サイクル開発機構ウラン濃縮原型プラントの他、原子炉施設、主要な核燃料施設（再処理施設、加工施設、使用施設（政令16条の2該当施設）、廃棄物管理施設、廃棄物埋設施設、主要なR1施設）について異常の有無を確認するとともに、他の原子力関連施設について異常が認められた場合には直ちに報告を受けることとしてきた。現在までに、不具合のあったものは以下のとおり。

1. 日本原燃（株）高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター

1月1日午前7時23分に行われた時刻修正時に、運転制御・監視システムの一部に時刻表示が1999年1月1日となる表示不良が発生した。2000年問題を想定して作成された時刻修正プログラムの一部に誤りがあることが判明したため、修正作業が行われ、1月2日朝に復旧を確認。運転制御・監視及び監視データの記録に対する影響、外部への影響はなかった。〔参考1〕

2. 石川県環境放射線監視テレメータシステム

1月1日午前0時過ぎ、北陸電力（株）志賀原子力発電所周辺の放射線の監視を行う環境放射線監視テレメータシステムのうち、石川県が設置したシステムについて、観測局からデータが転送される監視センターでデータ表示がされない不具合が生じた。処理装置の中のデータ収集ファイルの修正を行い、1月2日午前8時に復旧。〔参考2〕

3. 宮城県原子力センターオフライン系システム

1月1日午前0時30分頃、東北電力（株）女川原子力発電所周辺において宮城県が行っている環境放射線監視について、常時監視データを用いて統計処理や帳票作成を行うオフライン系へのデータ通信ソフトに障害を確認した。同日午前8時半に同ソフトの修正により復旧。なお、常時監視を行うオンライン系には異常がなかった。〔参考3〕

平成12年1月2日

報道関係各位

日本原燃株式会社

六ヶ所高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターの
運転制御・監視システムにおける一部表示不良の修正について

当社、六ヶ所高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターの運転制御・監視を行うシステムのうち、一部の運転制御・監視盤において、時刻修正時に西暦表示部が不良となりました。(昨日お知らせ済み)

原因調査の結果、時刻修正用プログラムの一部に誤りのあったことが判明いたしましたので、昨夜のうちに修正作業を行い、本今朝、時刻修正が正常に行われることを確認いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本事象による、運転制御並びに監視及び監視データの記録に対する影響はなく、また外部への影響もありません。

以 上

扱 者：齋藤・富森
TEL：31-1512

平成12年1月1日

報道関係各位

日本原燃株式会社

**六ヶ所高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターの
運転制御・監視システムにおける一部表示不良について**

当社、六ヶ所高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターの運転制御・監視を行うシステムについては、毎朝午前7時23分に自動的に時刻修正を行っておりますが、本朝の時刻修正時に、一部の運転制御・監視盤の表示部において、時刻の表示のみが2000年1月1日から1999年1月1日へ書き換わる表示不良が生じていることが確認されました。

現在、原因調査を行っておりますが、通常どおり運転の制御並びに監視データの表示及び記録には日付けを含めて正常に行われており、運転への支障はありません。

また、本事象による外部への影響はありません。

以 上

振 着：伊藤・市川
TEL：3581-8918

直長盤

工程管理用計算機
(G8000)

監視制御盤
(DCS)

LAN

毎日 7:28
時刻のデータ補正

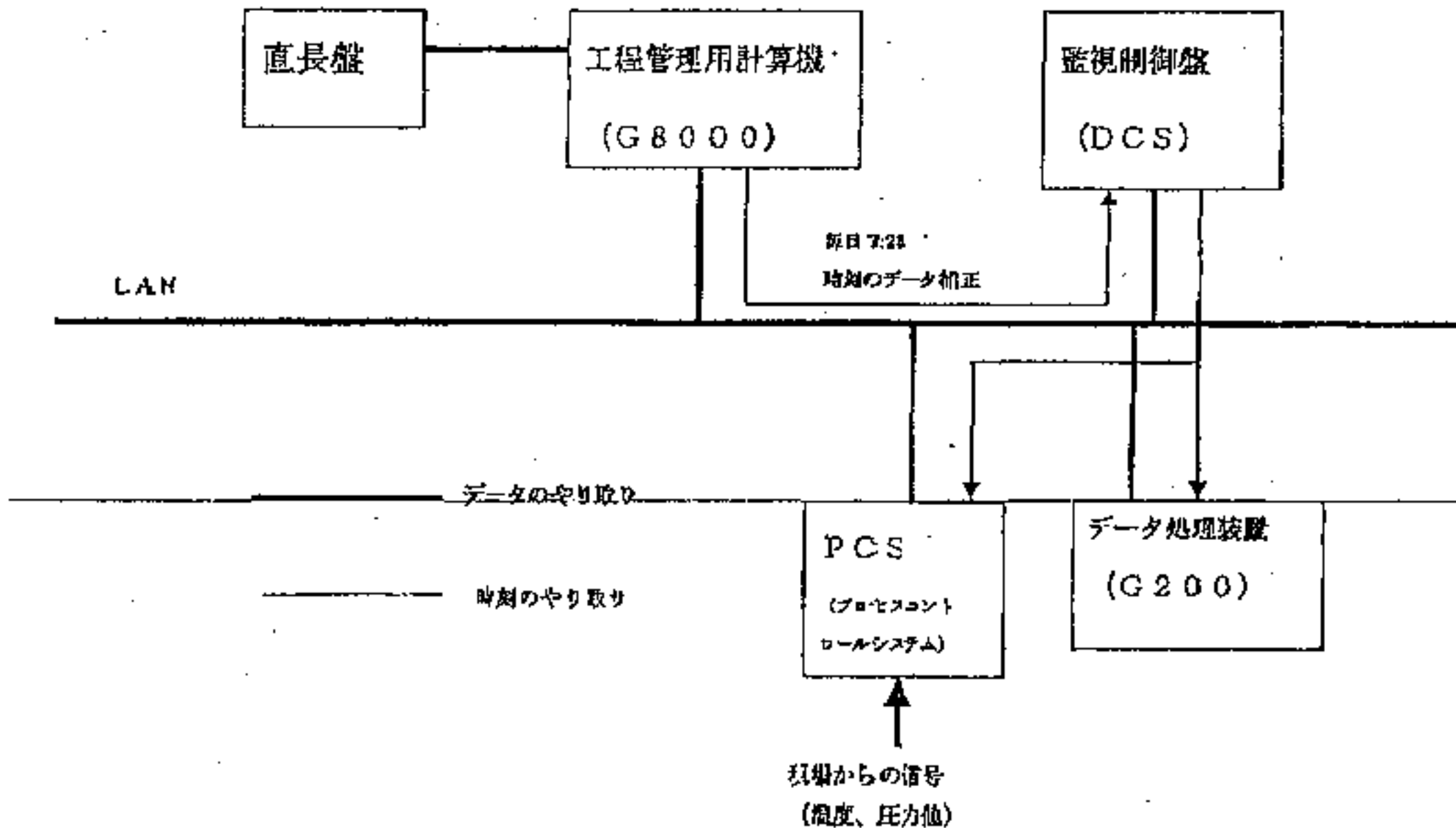
データのやり取り

時刻のやり取り

PCS
(プロセスコント
ロールシステム)

データ処理装置
(G200)

現場からの信号
(温度、圧力他)



環境放射線監視テレメータシステムの調査状況について

平成12年1月2日10時

- 1 環境放射線監視テレメータシステム（データ表示の不具合）については、2日午前0時以降システムの正常復帰の兆候を示し始め、それ以後も稼働状態が安定した状態に至っており、本日午前8時の時点で志賀町の表示端末が正常に機能していることが確認された。

また、トラブルの原因についても、コンピュータ西暦2000年問題に起因することが判明した。

以上の状況に照らし、本システムの機能は、正常な状態に復帰したものと認められる。

- 2 今後とも、システムの点検・監視体制の強化に努めてまいることとしております。

平成12年1月1日 0時報告

- 1 「石川県コンピュータ西暦2000年問題特別警戒本部」から1月1日0時現在の状況を発表いたします。

1月1日0時現在の本県におけるコンピュータ西暦2000年問題の状況については、

- ① エネルギー、通信、交通などの社会インフラ等において、特段の障害は発生していない。
- ② 医療分野については、2000年問題に起因する問題の発生は、報告されていない。
- ③ 県内41市町村においては、保有するシステム及び地域内で、2000年問題に起因する障害の発生は報告されていない。
- ④ 県保有コンピュータシステムについては、概ね正常稼働を確認しているが、環境放射線監視テレメータシステムに2000年問題に起因する可能性もある障害(データ表示がされなくなった。)があったと報告されている。

なお、このシステムの復旧について、現地へ職員及びメンテナンス会社の技術者が向かっており、詳しい情報は、分かり次第公表したい。

- 2 最大の山は越えましたが、特別警戒本部は、今後も待機体制を継続して情報収集に当たり、次は、本日の正午に定時公表を行う予定としております。

なお、この間に、問題の発生を認識した場合は、随時に公表を行うことといたします。

記者発表資料
平成12年1月1日
環境生活部原子力安全対策室
安全対策班
内2607 担当 佐藤、安藤

宮城県原子力センターにおけるオフライン系システムのトラブルについて

－ 第 2 報 －

本県では、女川原子力発電所周辺にモニタリングステーションを設置し、環境放射線の常時監視を行っております。

本日、2000年に入った時点でオンライン系の動作確認を行ったところ、異常は認められませんでした。

しかしながら、その後に、この常時監視データを用いて統計処理や帳票作成を行うオフライン系システムについても同様に動作確認を行ったところ、オンライン系とのデータ通信ソフトに障害が発生していることがわかりました。

現在、テレメータシステムを開発した業者に依頼し、このトラブルが2000年問題と関係があるかどうかについて調査しているところです。

なお、上述のとおり、オンライン系システムは正常に作動しており、環境放射線監視は問題なく行われていることを申し添えます。

(以上、既報)

起動できなかったオフライン系システムについて、これまで鋭意調査を進めてきた結果、JICSと呼ばれる通信用ソフトに対して「西暦2000年対応緊急修正」が適用されていなかったことが原因ではないかと想定し、修正適用・確認テストを実施したところ、8時30分にシステムが復旧しました。

その後、業者においてオフライン系システムの動作確認作業を行ったところ正常に作動することが確認されました。

また、本県では、10時33分に業者から“今回のトラブルの原因はオンライン系とオフライン系を結ぶ通信ソフトの修正不備である”旨の報告を受けたところであります。